

アルミニウム製庇

V i s o r

取扱説明書

お使いになるお客様へ

製品をいつまでも安全に美しく使っていただくために、この説明書を必ずお読みいただき、お手元に保管くださいますよう、お願い申し上げます。



注 意

いつまでも製品を美しく保つために、以下の点をお守りください。

アルミニウムは耐蝕性の良い素材ですが、排気ガス、パイ煙、砂、泥などが表面に付着したまま長期間放置しますと、化学的反応や電気化学反応などが表面を侵し、腐食を発生することもあります。定期的なメンテナンスを行うことをお勧めします。

かるい汚れの場合

水で濡らした柔らかい布やスポンジなどで汚れを拭き、その後、水をかけて汚れを流してください。手の届かない場所はモップ等を使用し庇には乗らないようにしてください。

落ちにくい汚れの場合

中性洗剤をぬるま湯でうすめ、柔らかい布やスポンジを使用し汚れを落とします。そのあと洗剤が残らないように、十分水洗いをしてください。洗剤が残っていると腐食の原因となります。

《清掃の目安》

立 地 条 件	清 掃 回 数
臨海工場地帯	1 ～ 2 回 / 年
海岸・工業地帯	1 回 / 年
市 街 地	0.5 ～ 1 回 / 年
田 園 地 帯	0.5 回 / 年



注 意

製品の安全を確保するために、以下の点をお守りください。

- ・転落の恐れがありますので、庇に乗ったりぶらさがったりしないでください。
- ・庇が破損する恐れがありますので、カタログ記載の耐積雪高を超える前に必ず雪降ろしを行ってください。

Visor アルミニウム複合材製庇

(RS-FT 型)

施 工 要 領

確実な施工を行い、製品の安全を確保するため、施工前にこの「施工要領」を必ずお読みください。

— 目 次 —

施工上の注意点	1
部材名称	2
アンカー取付要領	2
施工手順	3

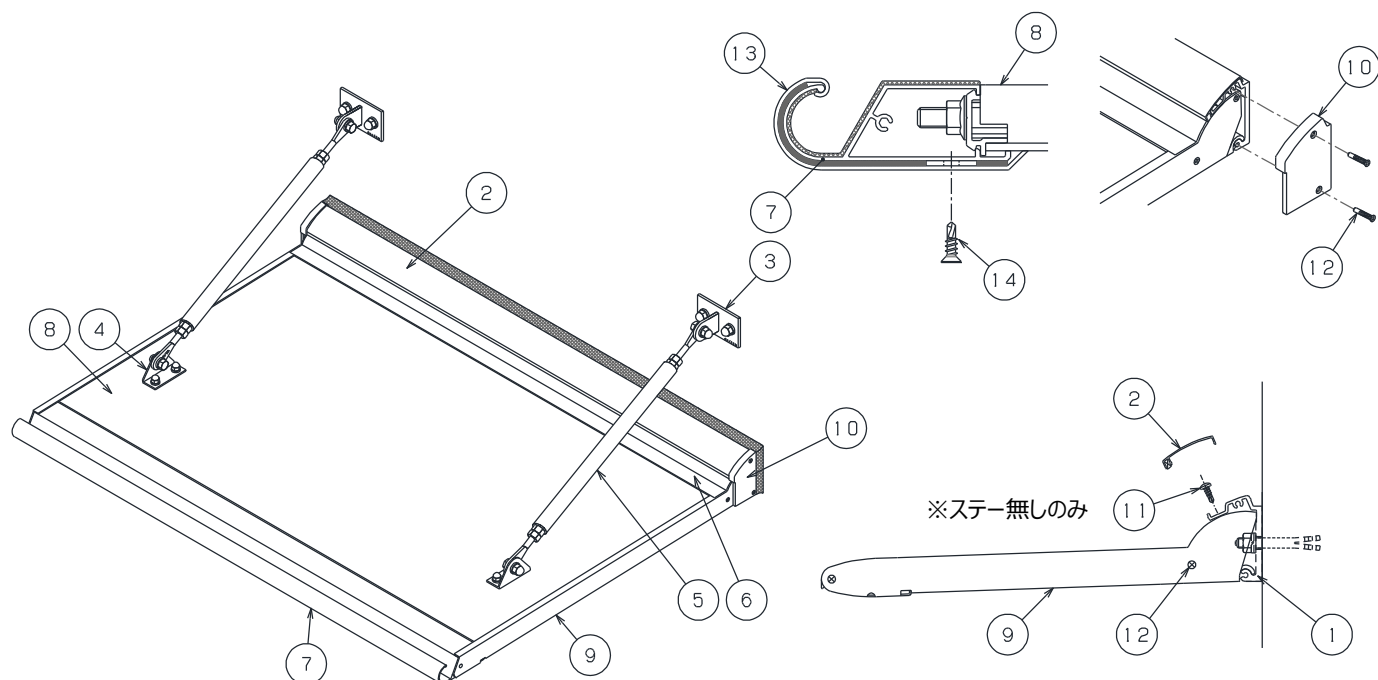


施工上の注意点

- ☐ 転落や破損の恐れがありますので、庇に乗ったりぶらさがったりしないでください。
- ☐ ねじやボルトは全て確実に締めてください。
- ☐ 施工後、ねじやボルトにゆるみやガタつき、その他使用上危険な箇所等がないか確認してください。
- ☐ 庇の角度は指定角度範囲内で使用してください。
- ☐ 正規の施工方法以外での取付けや、改造等を行わないでください。

※ 改良のため、予告なく製品の一部を変更する場合があります。御了承ください。

■ 部材名称



(部材名称 一覧表)

番号	部 材 名 称	備 考
1	壁軸材	
2	壁軸カバー材	
3	固定用ステー取付ブラケット（壁側）	横型 ※ステー付きのみ
4	固定用ステー取付ブラケット（庇本体側）	※ステー付きのみ
5	固定用ステー	※ステー付きのみ
6	パネル軸材	
7	先端見切材	FT 型（樋付き丸型）
8	庇本体	
9	庇本体小口蓋	
10	壁軸材小口蓋	樹脂製／アルミ板製（※壁軸材に取付け済）
11	庇本体固定ねじ	十字穴付きなべドリルねじ φ5×16 ※ステー無しのみ
12	庇本体小口蓋 取付ねじ	十字穴付き皿タッピンねじ φ4×16 2種ガイド付き
13	先端見切ジョイント材	
14	先端見切ジョイント材 取付ねじ	十字穴付き皿ドリルねじ φ4×13

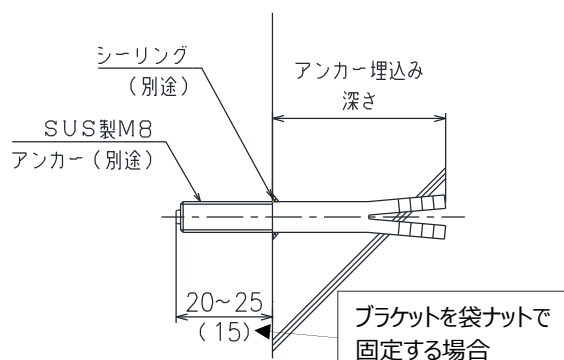
■ アンカー取付要領

アンカーは右図のように取付面から 20～25 mm突き出すようにしてください。（※ブラケットを袋ナットで固定する場合は 15 mm）

※アンカーの埋込み深さは使用するアンカーの規定寸法を守って取付けてください。

※内部への浸水防止のためにアンカーの周りに防水シール（別途）を施してください。

※あと施工アンカーによる施工は RC 躯体のみです。



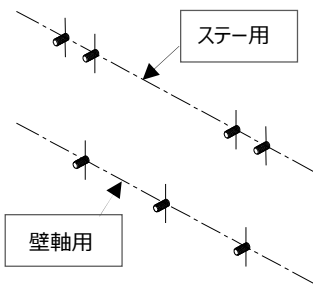
※アンカー取付位置については、別紙図面にてご確認ください。

■ 施工手順（庇が 1 枚物の場合）

1

アンカー図に基づき墨出しを行いアンカー（M8・別途）を取付けます。

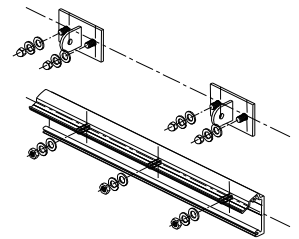
（用意するもの）
M8 アンカー（別途）



2

壁面の出入りを調整して壁軸材・固定用ステー取付ブラケットを取付け、アンカーを締付けます。
※水勾配を適正に確保しないと水漏れの原因になります。

（用意するもの）壁軸材、
固定用ステー取付ブラケット

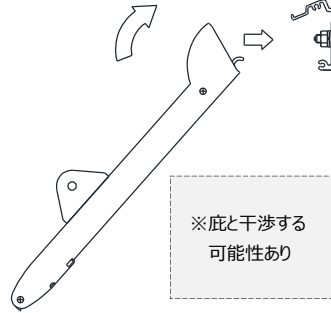


3

右図のように、庇本体を壁軸材に差込み、上方向へ回転させます。

※庇下部に物があると庇と干渉する可能性があります。
先に庇を取付けてください。

（用意するもの）庇本体



4-1 （ステー付きの場合）

固定用ステーを取り付けます。

別紙「追加 施工要領／固定用ステー」を参照し取付けてください。

※庇本体の角度の標準設定は 88°になります。

（用意するもの）固定用ステー

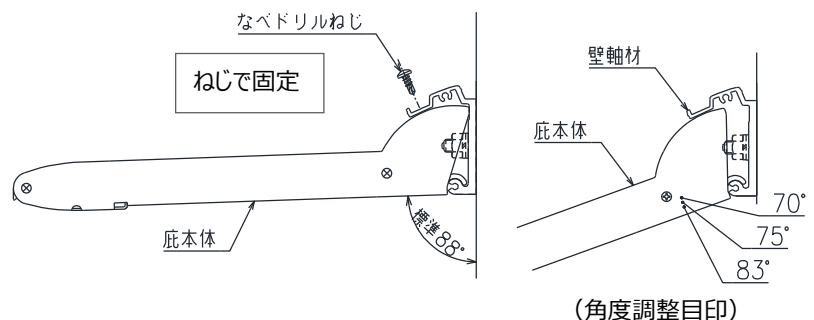
4-2 （ステー無しの場合）

庇本体を任意の角度（70～88°）に設置し、付属のなべドリルねじで固定します。

※庇本体の角度の調整範囲は 70～88°です。

標準設定は 88°になります。角度調整時には右図の目印を目安に取付けてください。

（用意するもの）庇本体、なべドリルねじ



5

①壁軸カバー材を取付けます。

②壁軸材小口蓋を付属の皿タッピンねじで固定します。

③壁軸材上部・端部に防水シール（別途）を施します。

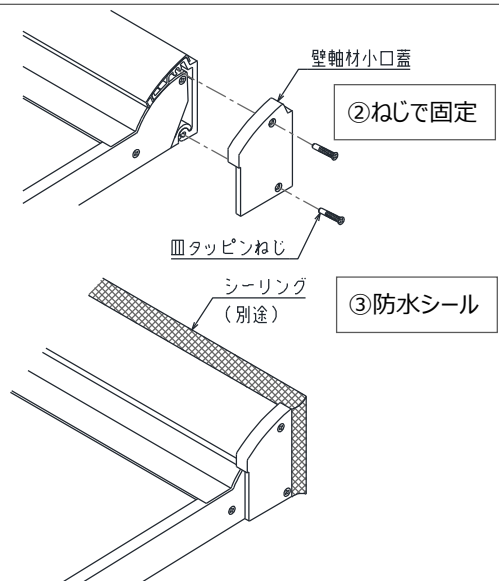
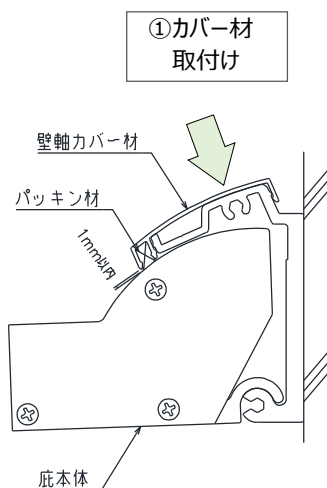
※壁軸材小口蓋がアルミ板製の場合は、あらかじめ壁軸材に取付けてあります。

（用意するもの）

壁軸カバー材

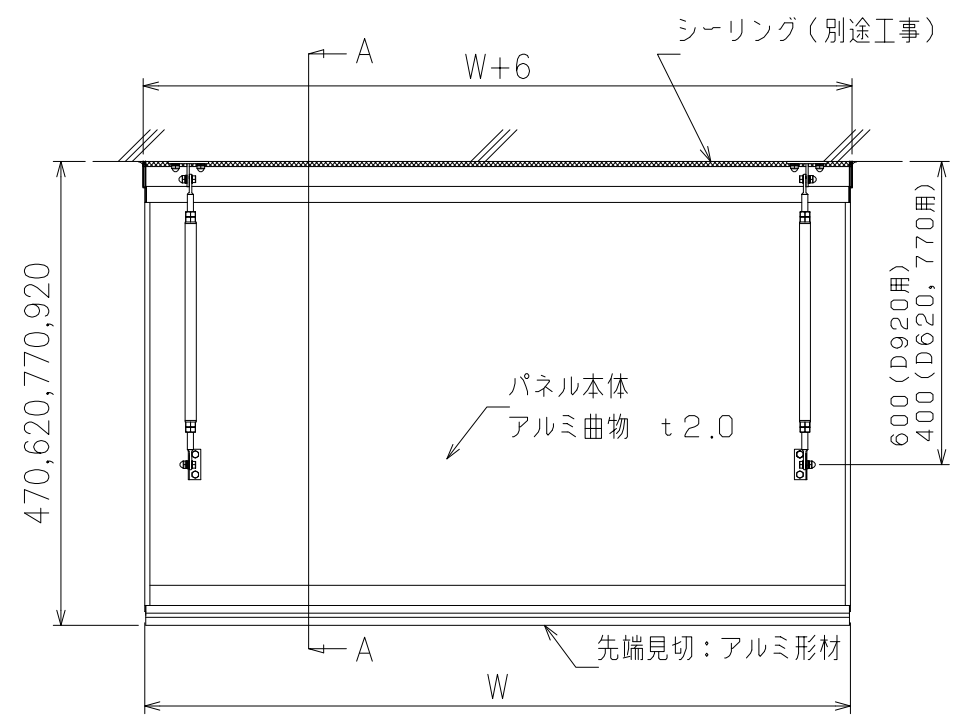
壁軸材小口蓋（樹脂製）

皿タッピンねじ

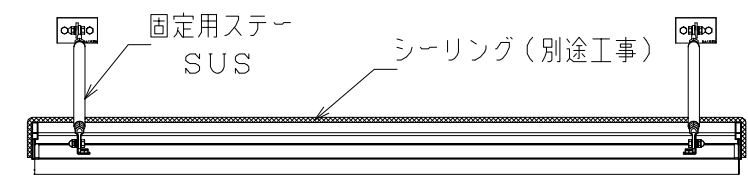


注 意

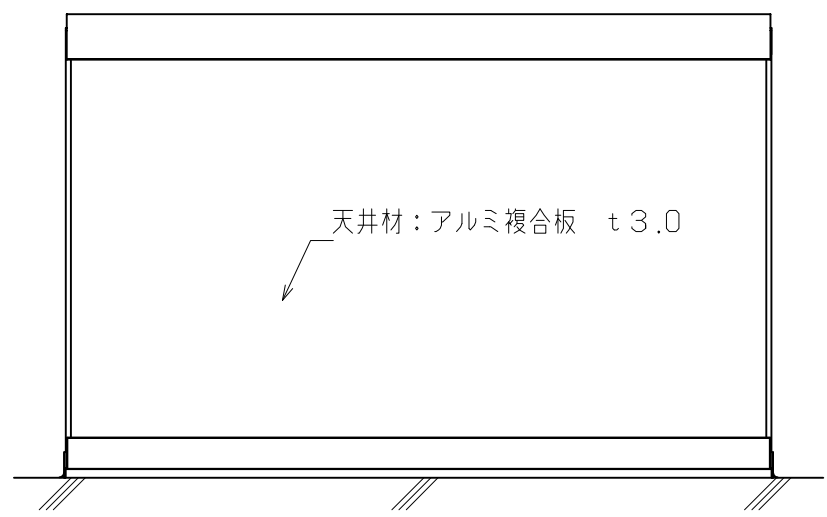
壁軸カバー材はパッキン材を先端側にして嵌合し、庇本体との隙間が 1 mm以内になっているか確認してください。
正しく嵌合されていないと水漏れの原因になります。



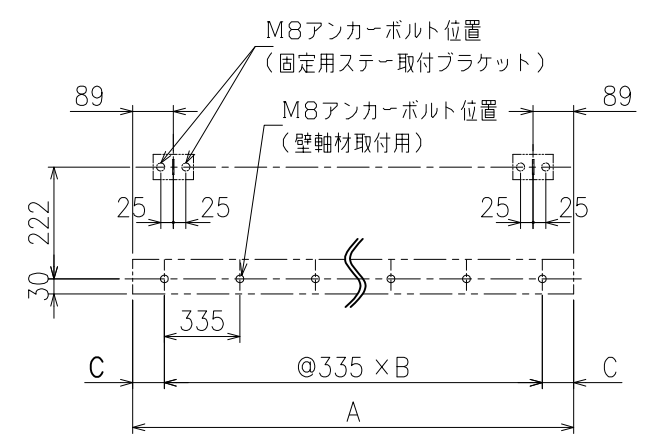
平面図



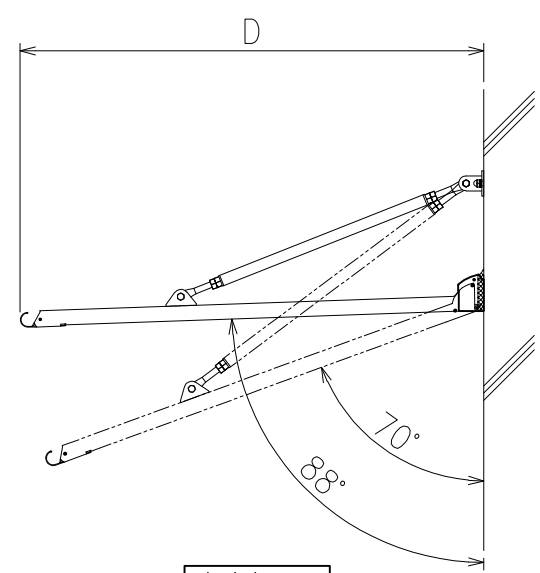
正面図



見上げ図



アンカー図



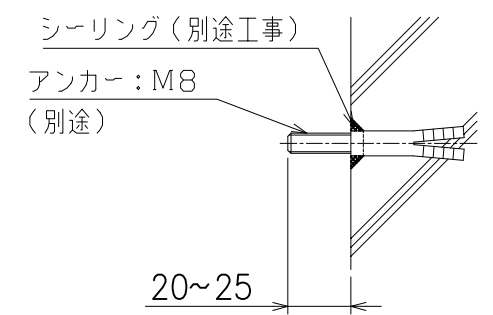
右側面図

モジュール表

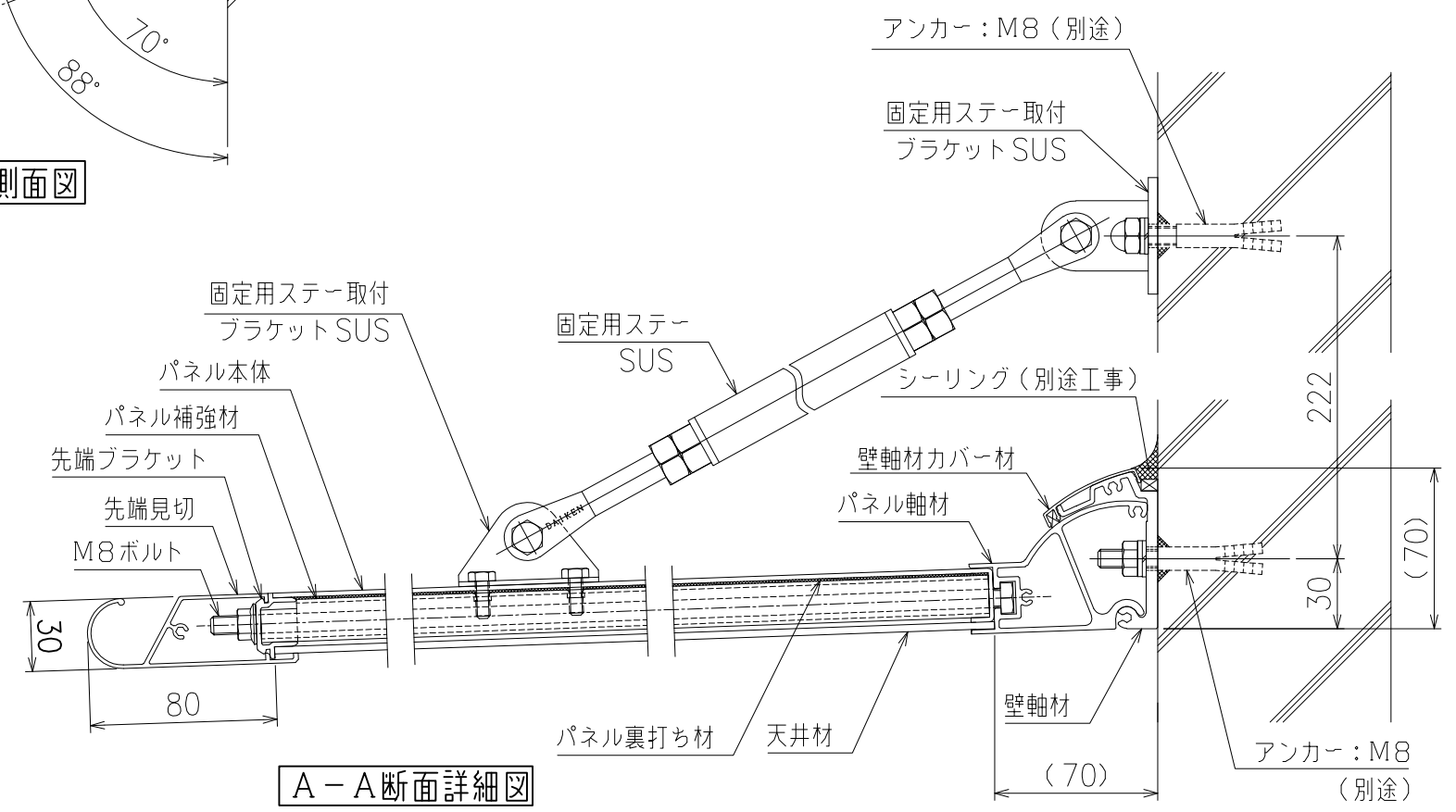
本体寸法		ステー数 (本)
D	W	
920	1000	2
	1600	
770	1000	2
	2000	
470	1000	0
	2000	

アンカー位置モジュール表

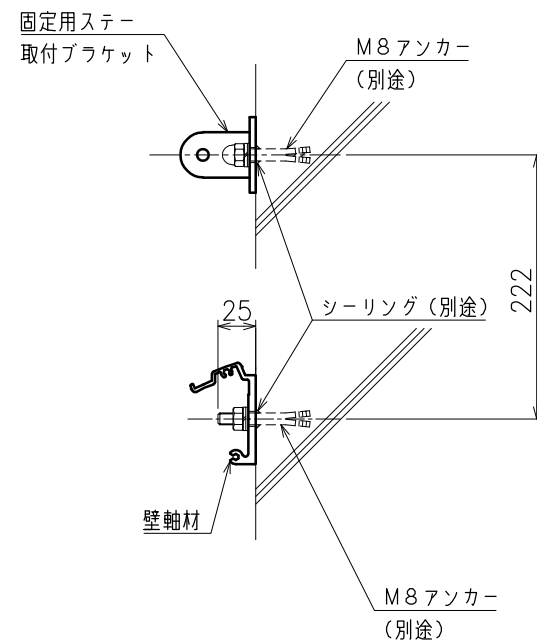
W巾	A	B	C	穴個数
1000	1006	2	168	3
1600	1606	4	133	5
2000	2006	5	165.5	6



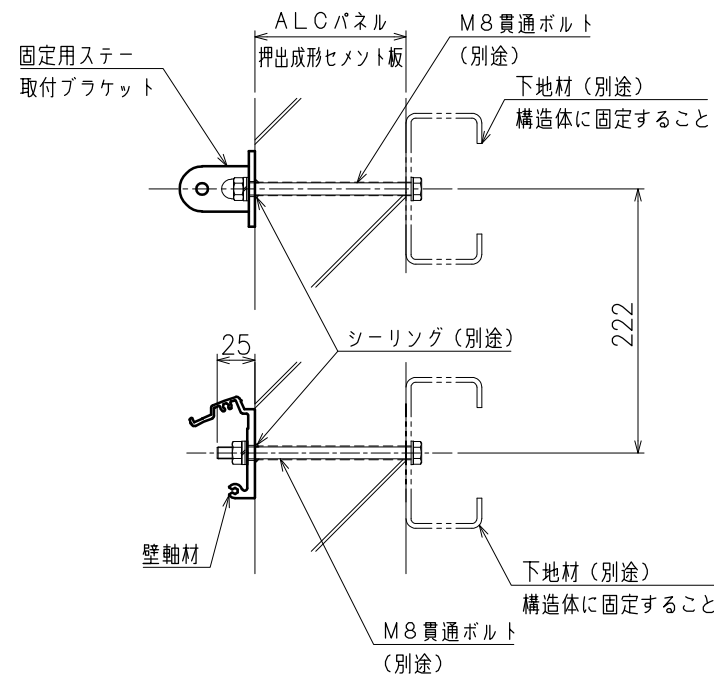
アンカー取付要領



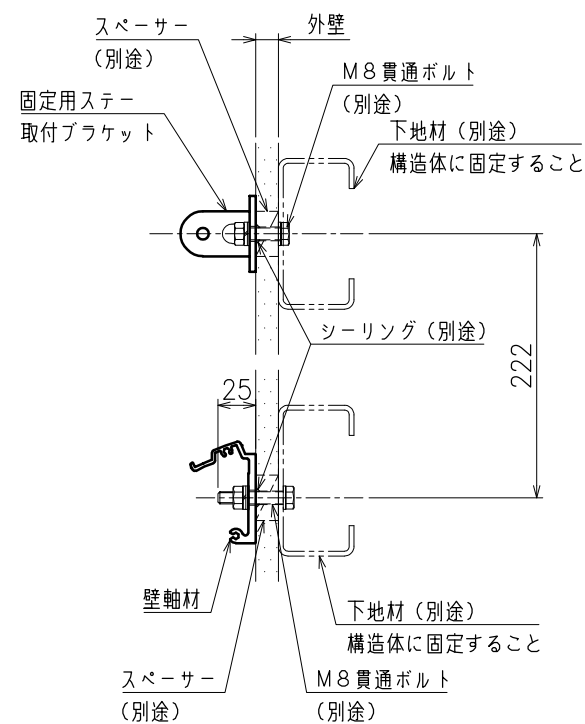
A-A断面詳細図



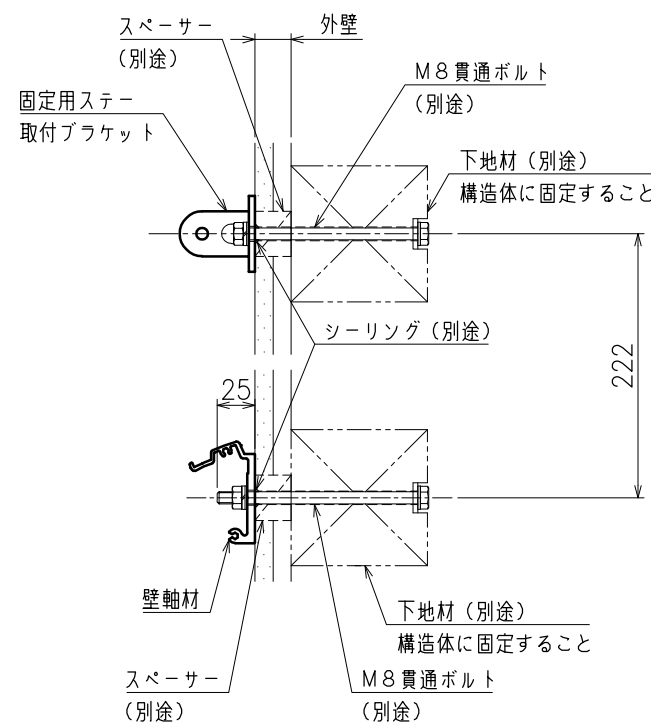
コンクリート下地に取付ける場合



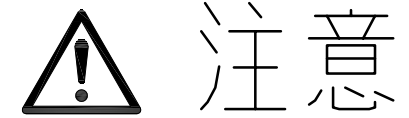
A L C パネル・押出成形セメント板に取付ける場合



鉄骨下地に取付ける場合



木下地に取付ける場合



注意

基本条件における一例です。
施工の際は必ず現場条件に合わせ、
十分な強度を確保した下地材・アンカーを
ご使用ください。
外壁がサイディングやタイル等の場合は、
外壁に直線負荷がかからないように、
スペーサー等を入れてください。

品目名称 V i s o r アルミニウム複合材製底 RS-F T 型

図面名称 壁際納まり参考図

工事名称

日付 2018-08-20 尺度 1 : 5

図番

頁

/